

科目ナンバー	TCP-3-006-ky			科目名	社会科・地歴科教育法I		
教員名	矢島 宣弘			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	高等学校の地歴科の授業をどのように展開したらよいのか考えます。最初に高等学校における地歴科授業のあり方について、地歴科教育の目的や内容から考えます。次に「世界史」「日本史」「地理」の各科目の指導内容と指導方法について具体例をあげながら考え、地歴科を指導する上で必要な基礎的な知識と実践力を身に付けます。						
到達目標	高等学校の地歴科授業のあり方についての考察を通して、地歴科の教員として必要な教材分析力、学習指導及び授業づくり力、生徒指導力などを養います。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地歴編』を基に、地歴科の教科及び各科目の目標、内容等について概観します。また、地歴科の授業をどのように行ったらよいと考え、学習指導案を作成します。そして、最後に実践的な模擬授業を行います。なお、教科指導上の課題解決をするために、グループワーク、ディスカッション、ディベート等を行います。課題やレポート等はMoodle等で提示し、添削後、返却します。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			○
受講条件 前提科目	中学校社会科教員免許の取得を目指す学生は、「社会科・公民科教育法I」とともに履修してください。高等学校地歴科教員免許の取得を目指す学生は履修してください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	①受講意欲・態度(2/3以上の受講)20%、②平常点(レポートや学習指導案の内容、模擬授業等)50%、③学期末試験30%を基準に総合的に評価。						
教材	『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編』平成30年7月 文部科学省 高校で使用した教科書が教育実習で実践予定の「世界史」「日本史」「地理」いずれかの教科書1冊 ※なお、教科書が不明の場合は、「詳説世界史」(世B310)山川出版社、「詳説日本史」(日B309)山川出版社、「新詳地理B」(地B304)帝国書院のいずれか1冊を購入すること。						
参考図書	『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』平成29年6月 文部科学省 『教育実習生のための学習指導案作成教本 社会地歴公民科[改定版]』蒼丘書林 ¥1200						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス 授業の概要と進め方について						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	高校地歴科授業の現状と課題とは何か。～「改訂の経緯・趣旨」からこれからの地歴科授業を考える。						
授業外学修内容	課題レポート「地歴教材の発掘1」					時間数	2
3週目							
授業学修内容	地歴科で育成する資質・能力は何か。～教科及び各科目の目標を考える。						
授業外学修内容						時間数	
4週目							
授業学修内容	地歴科の学習内容を考える。その1 世界史A・B						
授業外学修内容	課題レポート「地歴教材の発掘2」					時間数	2
5週目							
授業学修内容	地歴科の学習内容を考える。その2 日本史A・B						
授業外学修内							

容	課題レポート「地歴教材の発掘3」	時間数	2
6週目			
授業学修内容	地歴科の学習内容を考える。その3 地理A・B		
授業外学修内容	課題「板書計画の作成」	時間数	4
7週目			
授業学修内容	地歴科の授業を組み立てよう。その1 目標と評価について		
授業外学修内容	課題「学習指導案の作成1(本時の目標と評価)」	時間数	4
8週目			
授業学修内容	地歴科の授業を組み立てよう。その2 授業展開(指導内容の構造化)について		
授業外学修内容	課題「学習指導案の作成2(本時の展開)」	時間数	4
9週目			
授業学修内容	地歴科の授業を組み立てよう。その3 指導方法の工夫「情報の活用と作業的,体験的な学習」について		
授業外学修内容	課題レポート「地歴教材の発掘4」	時間数	2
10週目			
授業学修内容	地歴科の授業を組み立てよう。その4 指導方法の工夫と「言語活動の充実」について		
授業外学修内容	課題レポート「地歴教材の発掘5」	時間数	2
11週目			
授業学修内容	学習指導案をつくろう。その1 教材観、指導方針、指導目標の設定について		
授業外学修内容	課題「学習指導案の作成3」	時間数	4
12週目			
授業学修内容	学習指導案をつくろう。その2 指導計画、評価規準の設定について		
授業外学修内容		時間数	
13週目			
授業学修内容	地歴科の授業をしよう。世界史A・B 模擬授業実践		
授業外学修内容	課題「模擬授業の評価」	時間数	1
14週目			
授業学修内容	地歴科の授業をしよう。日本史A・B 模擬授業実践		
授業外学修内容		時間数	
15週目			
授業学修内容	地歴科の授業をしよう。地理A・B 模擬授業実践 まとめ		
授業外学修内容		時間数	
上記の授業外学修時間の合計		27	
その他に必要な自習時間		63	

Number	TCP-3-006-ky	Subject	Methodologies for Teaching Geography and History I		
Name	矢島 宣弘 (Yajima Nobuhiro)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
	The content of this course is related to the teaching method of Geography and History of senior				

Course outline	O high schools. And the students will acquire basic knowledge and practical skills necessary for tea ching the subject.
-------------------	--